

地域活動等を実践する講師や、受講者同士のコミュニケーションを深め、気づきを得たり、たすけあいの活動への共感を高めたり... 「共に学び合う場」です。どなたでも参加いただけます。

連続講座 全4回

受講料 3,000 円

▶6月11日(火) 10:00 ~ 12:30 鎌倉芸術館 (大船駅徒歩 10分)

オリエンテーション・講義: 社会の現状と私たち、子どもの現状、人が繋がりあえる場の必要性

講師: 鈴木理恵氏 (みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ代表)

▶6月17日(月) 10:00 ~ 12:00 鎌倉芸術館 (大船駅徒歩 10分)

講義・意見交換: “小さな拠点(ハブ)が繋がれば街全体がひとつのHomeに”をコンセプトに活動

講師: 岩崎愛氏 (一般社団法人リトルハブホーム代表理事)

▶7月9日(火) 10:00 ~ 12:00 一般社団法人 Miraie (新大津駅徒歩 15分)

フィールドワーク(見学と講義): 居場所やサロンの立ち上げと運営

講師: 平本和弘氏 (一般社団法人 Miraie 代表理事)

▶7月22日(月) 10:00 ~ 12:00 み~なの家 (久里浜駅徒歩 5分)

講義・グループワーク: たすけてと言える関係をつくる地域・生活にある「自分ごと」

講師・ファシリテーター: 木下青子氏 (NPO 法人みんなの居場所よこすか理事長)

<問合せ>

NPO 法人全員参加による地域未来創造機構(略称: 未来機構)事務局

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-8-4

オルタナティブ生活館 3F

Tel:045-534-7131 Fax:045-534-7151

e-mail:minnano@miraikikou.org



一般社団法人 Miraie

「Miraie は自分の心を大切にする秘密の隠れ家」第三の居場所「みらいのたいよう」を運営。色々な事情で学校に行かないことを選んだ子ども達が、古民家や山、畑等のフィールドを利用して、自分の好きを探す。平日は第三の居場所や学童・シェアスペース、休日はイベントやワークショップを開催し色々な体験をし、自分のやりたかったことを実現できる場として開かれています。(横須賀市根岸町)

み~なの家 よこすか

2018年10月こだわりの癒しの空間としてオープン。人と人とのつながりや関係性こそが社会に必要なインフラ。人々が出会い、つながり、豊かな関係性や新しい発想や新たな主体を紡ぐ場という思いを持って活動している。(横須賀市久里浜)

湘南

サステイナブルなひと、
生活クラブ

2024. 5月号

鎌倉C・逗葉・よこすか・藤沢北・湘南ふじさわ・茅ヶ崎・ひらつか・なかくん・城下町・はだの・足柄・ちがさき・らいふたうん・鎌倉D・ひらつか西海岸

藤沢市で新たな拠点を大ぜいの参加でつくり

湘南 SDGs の実現につなげよう



2023 年は、藤沢市の UR の施設を活用した新たな拠点づくりの活動を始め、地域の組合員や住民の方に、新たな拠点を知ってもらうことを目的に拠点説明会や野菜市の企画を行いました。また、コミュニティを広げる場として食の事業の創出をめざし、メンバーが事業運営に参加するワーカーズ・コレクティブを形成し、地域の人の働く場にもなるようにメンバーを増やしながら事業が開始に向けてすすめています。

2024 年は、組合員や地域の方が主体的に関わる人や参加する人を大ぜいにしながら、新たな拠点づくりをすすめます。具体計画としては、多世代交流ができる多目的スペースで親子ひろば、子どもたちの居場所、学習支援、高齢者の居場所などをつくっていきたくと考えています。また、子どもの貧困などを視野に入れたフードパントリーの実施も進めていきたいと考えています。そのためにまず、行政や地域の

自治会や地域で活動している団体を訪問し、地域情報を教えてもらい、連携協力できることから始めていきます。また、この拠点でやってみたい人や関わってみたい人を見つけるために、説明会や企画を行っていきます。

新たな拠点が地域の人何かあれば行ってみよう、あそこに行けばいつも誰かいるから話せる、相談できる...地域のホットスペースになれることをめざします。

レストランでは地場野菜や生活クラブの消費材を使い、身体に優しいメニュー作りを目指していきます。再生可能エネルギーの生活クラブでんきを使い CO₂削減につなげます。地域課題の解決につながる居場所づくりなどを行い、湘南 SDGs の実現につなげていきます。湘南の新しい拠点を組合員や地域の皆さんの参加で実現していきましょう!!

報告 3月センターまつり <どんな出会いがあったかな・>

~春のセンターまつり 第1弾 葉山センター~

3月16日(土)

【参加者】組合員 29名 未組 41名 計 70名

【加入】加入目標 8名

当日加入 7名 Web 加入予定者 1名 計 8名



春を実感できる晴天の暖かいお天気に恵まれた中、葉山センターまつりが約5年ぶりに開催されました。生産者は、美勢商事さん、和高スパイスさんをお迎えし、事務局、ワーカーズ、葉山センターエリアの鎌倉、逗葉の運営委員、理事会メンバー、みんなで一丸となって、たくさんの来場者と消費材を味わい、おしゃべりを楽しみながら加入目標達成に向けて活動を行いました。

【理事会報告】

第9回定例理事会 (2月8日)

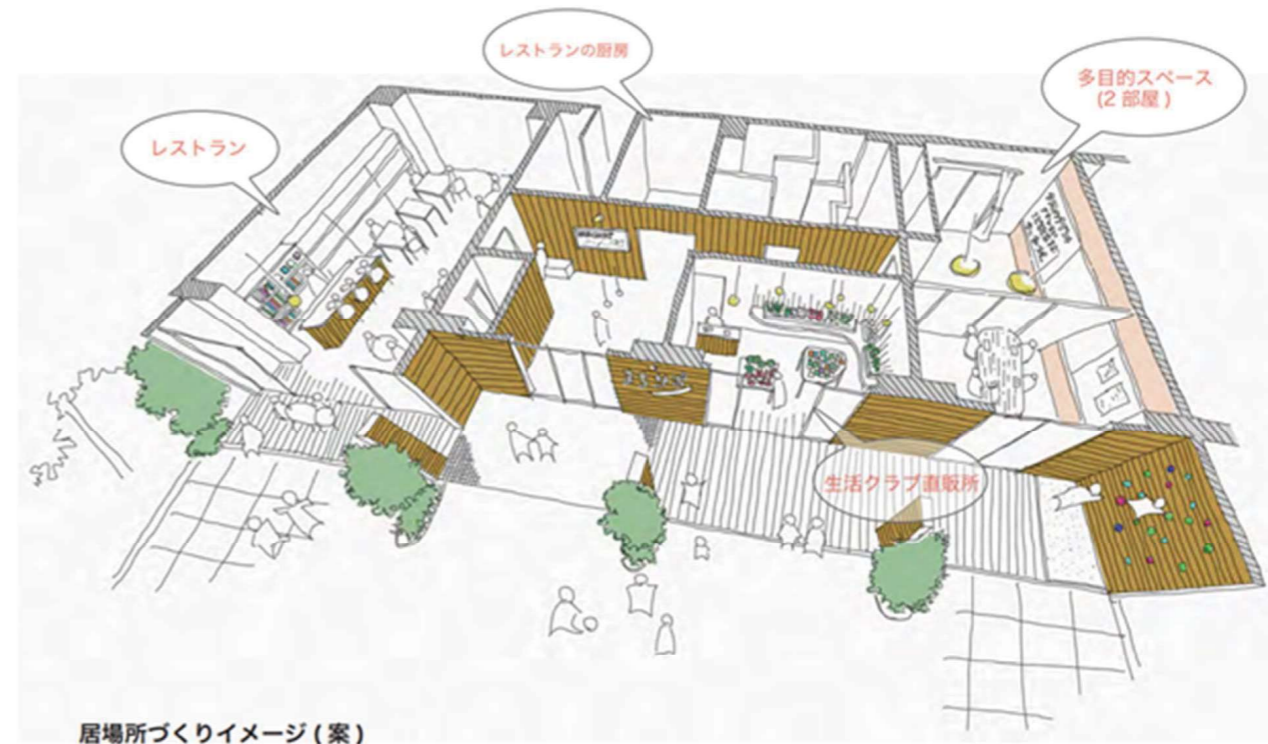
- ・第21回湘南総代会開催 第1次討議
- ・2023年度機関会議重点活動総括と2024年度重点活動と活動計画および予算案について

第10回定例理事会 (3月8日)

- ・2023年度期末監査実施について
- ・第21回湘南総代会開催 第2次討議

◀**編集後記** 広報担当になり1年が経ちました。文章で想いを伝える事の難しさを痛感しています。文章って奥が深い!! (桜井)

組織報告	組合員数(2月末現在) 21,119人 (4月期首 20,849人) ●班 1,292人 ●個配 14,140人 ●デポー 5,499人 ●未組織 188人	 《Facebook》 《Instagram》
	世帯当たり利用高(2月) 20,792円 (前年度同月比 98.1%) ●班 24,337円 ●個配 23,335円 ●デポー 13,413円	
発行	第181号 2024.5.16 湘南生活クラブ理事会	発行責任: 飯田 厚子 編集責任: 中村 園子



居場所づくりイメージ(案)

直接会うことになぜこだわるのか？

～生活クラブ運動としての大会とは～

湘南 15 のコモンズ・デポー大会には多くの組合員が参加しました。今年も会場での直接参加での開催の方針に決め、運営規約に定めた大会成立人数を満たすよう、各運営委員会が電話かけをおこなうなどして開催直前まで参加を呼びかけ、大会を開催しました。

大会はその年の活動と決算報告を行い、翌年の活動方針と予算を所属の組合員で議論して決める場です。運営委員会で作成した大会議案書は提案事項が端的にまとめられ、誰でも読むことで活動を理解することができます。大会に直接参加してわかることはそれだけではありません。運営委員会からの熱い思いや参加した人の意見などをその場で直接顔を合わせて聞く言葉には力があり、そのままの気持ちが伝わります。

さらに共感も生まれます。今回の大会でも直接話を聞いたことで心を動かされ活動参加に手を挙げた組合員や、集うことの大切さやふれあうことの大切さを改めて実感したという声も多く聞きました。生活クラブは、直接会って伝え、おおぜいの意見を聞き、話し合っただけを大切にしてきました。そして、共感をつくり生活クラブの運動をひろげてきました。時代が変化し、集うこと参加することが難しくなっている今だからこそ、人とひとの直接的なつながりを大切にしておおぜいと会える機会を大事にしていきたいと思います。



～おおぜいに会う場として、組合員集會に出掛けよう～

今年度も6月下旬～7月下旬に組合員集會を開催します。組合員集會ではコモンズ・デポーで取り組む活動や運営委員会、F(食)E(環境)C(共済たすけあい)専門委員会重点的にすすめている活動の紹介と、「生活クラブまちづくり基金」の賛同を広げる呼びかけに力を入れておこないます。また、地域の組合員が集い交流しつながらる場となるよう開催します。大会に参加できなかった方も、しばらく参加していなかった方も初めての方も！生活クラブの活動を知り、地域でつながる楽しさを実感しに皆で組合員集會に出かけましょう！

2023年度の活動の集大成 今年もいろいろありました。 ～コモンズ・デポー大会報告～

◆よこすかコモンズ

第22回よこすかコモンズ大会は、3月5日(火)横須賀市文化会館にて開催、124名の実参加により成立。運営委員は報告・方針提案を誠実にやり、「メンバーが足りず企画ができなかった、運営に参加してください」と訴えました。「先輩のみなさん、運営委員に戻ってきてください。」監査委員のこの退任挨拶が当日ベテラン組合員さんからのうれしい申し出につながり、集うことの大切さを大勢で実感できました。

2024年度活動テーマは「Face to Face よこすかコモンズ☆」です！



◆コモンズひらつか

3月9日(土)コモンズひらつか大会を開催しました。久しぶりの実参加のみでの大会を計画し、働く組合員が増えていることを考慮し土曜日開催としました。コロナも落ち着ききて、おおぜいの組合員が顔を合わせて語り合える時間を持つことを願い、早め早めに告知を始めました。大会後に生産者交流会を行うなど、楽しく過ごせるようにと工夫しました。開催に向けて電話掛けや知り合いへの声かけなど大変な事もありましたが、大会が成立したことで大きな喜びとなり終始



和やかな雰囲気でも過ごすことができました。出席者からも「大会に出たことで活動に参加することの大切さを知りました。」などと嬉しい声かけもあり、会えることの大切さを実感した良い日でした。

◆藤沢北コモンズ

3月10日(日)湘南台公民館にて開催、45名の参加で大会は無事に成立しました。活動報告では、運営委員長・各専門委員長が活動に込めた熱いメッセージと共に想いを語る場面もあり、次年度の方針では、活動テーマ「生活クラブのある心ゆたかな暮らしをめざして！」にそった数多くの活動を組合員に伝えました。顔を合わせたの大会だからこそこの近い距離間で存分にアピールが出来たと思います。組合員からは「小額でも経費清算して運営委員の負担がないように」という意見もいただき、運営委員の励みになりました。



大会前には組合員のお子さんのウクレレ演奏で会が華やかになり、大会終了後はお楽しみクイズ大会で盛り上がりました。笑顔があふれる充実した大会でした。やはり会って触れ合える実開催っていいですね！！

◆ちがさきデポー

3月10日(日)ちがさきセンター会議室(参加者68名)まず、本年の大会を成立させ、2025年度のちがさきデポーリニューアルについて、組合員のみなさんの承認を得ることが課題でした。開催10日前までは参加者20数名ほど、そこから運営委員やワーカーズによるフロアでの呼びかけや組合員の人たちの協力もあり、無事に開催日を迎えました。おおぜいの組合員のみなさんに見守られながら各議案を提案し、承認されたことは、運営委員会メンバーにとっては今後の活動の大きな糧となりました。運営委員会の特別アピールは「リニューアル



に向けてちがさきデポーを盛り上げよう」です。これから運営委員会とワーカーズとで協力し、仲間づくり活動に力を入れていきます。組合員一人ひとりの活動参加がちがさきデポーの力になります。組合員のさらなる協力を宜しくお願い致します。

湘南機関会議 シリーズ 番外編

機関会議ではありませんが、湘南クリ正実行委員会を紹介します。「クリ正」と聞くと懐かしく感じる方が多いと思います。運営委員や理事も初めての活動参加はクリ正活動なのでは？

【湘南クリ正実行委員会】

湘南クリ正実行委員会の活動はクリスマス・お正月用品の利用推進に特化しています。また、毎年夏頃から1月までの期間限定の委員会です。たくさんの組合員にクリスマス・お正月用消費材のおいしさや優位性、そして「予約して食べる」事の大切さを伝えるため、各コモンズ・デポーで楽しく試食会を行うことを提案しています。クリ正消費材はこの時期だけの特別な消費材がたくさんあります。委員も消費材の魅力を体感し知ることができる、とても楽しい委員会です。今年度も間もなくクリ正実行委員会が始まります。ひとりでも多くの方にクリ正実行委員会に関わってもらえたら嬉しいです。



◆報告◆ キララ賞授賞式

＜今年の受賞者は、どんな人！＞

2月3日 スペースオルタ

3年ぶりに実開催の贈呈式がおこなわれ、今年も神奈川を舞台にさまざまな分野で活動している個人、団体にキララ賞と副賞50万円を贈呈しました。式典では2003年キララ賞受賞の和太鼓昇龍の演奏もあり、場を盛り上げました。

今年度の受賞者は2団体です。

◆CoE (CoEXISTENCE) 〈こえ〉さん

川崎市内の路上生活者を対象に週1回、炊き立てごはんのおむすびを握り、手渡す活動を行っています。活動をSNS発信し啓蒙することで賛同者を増やし共存共生のありかたに一石を投じています。

◆さんかく農園さん

藤沢にある農園です。農業体験の提供と価格の自由設定や短時間で1組ずつの交代制など農業に包摂的な参加システムを取り入れています。

どちらの団体も今後も活動を応援していきます。

2024年度も神奈川県内で活動している若者を募集します。自薦他薦を問いません。奮って「キララ賞」へご応募ください。

